

日本気象学会

九州支部だより

No. 132 2020年7月



発行者

日本気象学会九州支部

〒810-0052

福岡市中央区大濠1-2-36

福岡管区気象台防災調査課内

Tel: 092-725-3614

Fax: 092-725-3163

Mail: info@msj-kyushu.jp

HP: http://msj-kyushu.jp/

今回の記事

- ◆第41期日本気象学会九州支部理事選挙の報告および新理事の紹介
- ◆日本気象学会九州支部2020年度第1回理事会議事概要
- ◆支部事務局からのお知らせ

第41期日本気象学会九州支部理事選挙の報告および新理事の紹介

九州支部事務局

今年度は支部理事（任期2年）の改選期にあたり、4月14日に第41期理事の選挙告示（支部ホームページへの掲載および支部会員宛メールにより選挙実施の通知と立候補受付のお知らせ）を行い、4月28日の立候補期限までに9名の会員から立候補の届出がありました。

支部規約により、今回は信任投票（有効投票総数の過半数の信任を得た場合当選）となりました。これを受けて、5月7日に選挙公示を行い事務局から支部会員宛、公示文および投票用紙等を郵送しました。5月25日到着分まで郵送による投票を受け付け、4月時点の支部会員180名のうち115名（投票率63.9%）から投票がありました。

開票結果は支部ホームページに掲載しているとおり、立候補された9名の方が全員当選となりました。

今回の選挙で当選された第41期の九州支部理事は次のとおりです。

（立候補の届け出順、敬称略）

鈴木 賢士	山口大学大学院創成科学研究科農学系学域・教授
尾崎 友亮	福岡管区気象台・気象防災部長
廣岡 俊彦	九州大学大学院理学研究院・教授
栗原 めぐみ	（株）熊本放送報道部・気象キャスター
竹村 俊彦	九州大学応用力学研究所・教授
益子 直文	鹿児島地方気象台・台長
富田 智彦	熊本大学大学院先端科学研究部・准教授
梶原 靖司	福岡管区気象台・台長
林 政彦	福岡大学理学部地球圏科学科・教授

日本気象学会九州支部 2020年度第1回理事会議事概要

5月26日～7月8日(書面開催)

九州支部事務局

新型コロナウイルス対策のため、理事会はメールの交換による書面開催となりました。
議事概要を報告します。

【議事】

1. 第41期理事選挙結果報告

日本気象学会九州支部第41期理事選挙の結果について、選挙管理委員会から報告があった。開票の結果、9人全員(届出順に、鈴木賢士氏(山口大学)、尾崎友亮氏(福岡管区气象台)、廣岡俊彦氏(九州大学)、栗原めぐみ氏(熊本放送)、竹村俊彦氏(九州大学)、益子直文氏(鹿児島地方气象台)、富田智彦氏(熊本大学)、梶原靖司氏(福岡管区气象台)、林政彦氏(福岡大学))の信任が報告された。

2. 支部長、常任理事選出

理事の互選により、梶原靖司氏が支部長に、廣岡俊彦氏・尾崎友亮氏が常任理事に選出された。

3. 2019年度事業報告

- ・事務局から、決算を含めて2019年度の事業について報告した。
別紙1に2019年の収支計算書、別紙2に2019年の会計監査報告を掲載した。
- ・2019年度支部発表会で中止となった特別講演について、2020年度の一般向け行事か支部発表会の特別講演で再度行なってはどうかという意見があった。

4. 2020年度事業計画案

4-1. 理事会

理事会の開催方法について、メールの交換による方法では踏み込んだ議論が難しいので、ウェブ開催を検討して欲しいという意見があった。今回の第1回目の理事会には準備が整っていなかったため、メール交換による書面開催となったが、今後、各イベント開催前における理事の打合せ等においては、ウェブ開催できるよう検討する。

4-2. 新型コロナウイルス対策について

今年度の事業計画について、会場で行なうイベントの中止の判断をいつ誰がどのように行うのか、中止の判断基準をあらかじめ決めるべきである、といった意見があった。議論の結果、新型コロナウイルス対策のため、2020年度は会場に人が集まる形式のイベントは基本的に取り止

め、オンライン開催を基本とすることとなった。オンライン開催にあたってはイベントが魅力的で効果的なものとなるよう極力工夫する。

4-3. 会員向け研究会など

(ア) 第42回支部発表会

当初は鹿児島市で開催の予定であったが、2020年度は新型コロナウイルス対策のため、人が集まる形式の会場発表は中止し、紙上発表を基本とすることとなった。なお、希望があれば、発表動画のオンライン配信の併用も検討する。特別講演については動画のオンライン配信を検討する。開催時期は、3月7日を含む週の予定。

4-4. 一般向け行事

(ア) 第20回気象教室

一般向けに行っている講演会「気象教室」は、この3年間は福岡市科学館で1月に開催しており、今年度当初も科学館での開催を検討していたが、新型コロナウイルス対策のため、人が集まる形式の講演は中止し、動画のオンライン配信での開催を検討することとなった。開催時期は、11月で検討している。

(イ) ジュニアセッションin九州

ジュニアセッションについては、毎年2、3校の高校から参加があるが、今年度は新型コロナウイルスの影響で学校活動そのものに影響が出ている。「無理に開催することはないが、これまでせっかくやってきた研究を発表する機会は確保しておきたい」という意見があった。このため、2020年度の九州支部のジュニアセッションin九州は、人が集まる形式の会場発表は中止し、紙上発表を基本とし、希望があれば、発表動画のオンライン配信の併用も検討することとなった。

(ウ) 気象サイエンスカフェin九州

これまで福岡と鹿児島との2会場で独立に、地元気象台および気象予報士会（西部支部、鹿児島支部）との共催で行ってきたが、新型コロナウイルス対策のため、動画配信のみのオンライン開催とし、福岡・鹿児島の開催を1本化して、幅広く配信する方向で提案することとなった。開催時期は、2020年12月頃で検討している。

4-5. 支部だより

昨年度は全国大会もあり発行できなかった。事務局の負担を軽減するため、発行回数を減らしてはどうかといった意見も出たが、少なくとも支部奨励賞の授賞などについては発行すべき、支部長会議で、毎回各支部の支部だよりのことが話題に出ることもあり、できるだけ定期的に発行してほしい、などの意見があった。最近発行が滞っているが、可能な限り通常通りのペースでの発行を目指すこととした。

4-6. 支部奨励賞

支部奨励賞は、研究を本務としていない会員（学生、気象台職員、教員など）を対象とした顕彰であり、最大3名の受賞者を想定する。

4-7. 日本気象学会奨励賞受賞候補者推薦

特に意見は出なかったが、2020年度分の推薦締め切りは、2021年2月頃と予想される。理事には推薦をお願いしており、当支部から推薦する場合には、事務局で調書等の資料を作成し、理事と調整の上、推薦することとする。

4-8. ホームページ

各種イベントの開催案内等の掲載を行い、HPの充実に努める。会員数が増えるよう気象学会への入会方法、手続きの取り方などの紹介があるとよいという意見があった。

4-9. 会員数の拡大

最近数年、会員の減少傾向が続いており、気象学会の活動を支えるための会費収入を確保するためには、会員数の拡大が必要である。将来へ向けて安定的に学会が運営できるよう若手を中心に入会を勧めるなどの取組を行う。理事会では以下のような意見が出た。

- ・福岡市内については、学生が会員でないと学会発表できなくなったため漸増状態にあると考える。
- ・2018年から2019年にかけての減少の大きさが気になる。
- ・減少の原因にもよるが、気象業務従事者の減少のような自然減少によるものならば、減少に合わせた事業をするしかない。この状況から会員を増やすには、これまでやってこなかった分野へ裾野を広げる必要がある。年会費9,000円は、簡単に払える金額ではないので、研究者以外でも年会費を支払ってもよいと思えるメリットがないと、厳しいと考える。「天気」の購読だけでは気象業務従事者以外へのメリットが薄いと感じる。学会後援として何かの活動、例えば水害防災講習などを行えるのであれば、少しはメリットがあるのではないか。

4-10. 2020年度予算案

予算案策定の基本方針は以下のとおりである。

2月の第40期第2回支部長会議において、2020年度から支部強化基金は廃止となり、講演会やサイエンスカフェ等の普及啓発活動には、1件あたり一律20,000円の助成金ということになった。2020年度は九州支部では①気象教室、②ジュニアセッションin九州、③サイエンスカフェin九州（福岡・鹿児島の一本化）の3件の支部普及活動に対する助成金が6万円交付される。従来の支部交付金および強化基金の合計に相当する収入総額は、昨年度よりおよそ24万円減額となる。今年は理事会を書面開催、支部発表会、気象教室、ジュニアセッション、サイエンスカフェは人を会場に集めて行う形式の発表・講演は中止しオンライン開催を基本とするため、会場費・交通費等の経費をゼロとした。別紙4に2020年度収支予算書を掲載した。

普及啓発活動に対する助成金が大幅に減額されるなかで、どのように支部活動の活性化を図っていくのか、今年度だけでなく、次年度以降も含めての課題であることが認識された。別紙4に2020年度収支予算書を掲載した。

5. 担当理事の分担

今年度は以下の担当で行なうことが承認された。

- 支部発表会：廣岡理事（九大）、尾崎理事（福岡管区气象台）
- 気象教室：廣岡理事（九大）、尾崎理事（福岡管区气象台）
- 気象サイエンスカフェin九州：尾崎理事（福岡管区气象台）、栗原理事（予報士会）
- ジュニアセッションin九州：廣岡理事（九大）、尾崎理事（福岡管区气象台）、林理事（福岡大）
- 支部奨励賞：竹村理事（九州大）、鈴木理事（山口大）、富田理事（熊本大）、林理事（福岡大）、栗原理事（予報士会）、益子理事（鹿児島地方气象台）
- 支部だより：栗原理事（予報士会）、竹村理事（九州大）、林理事（福岡大）、益子理事（鹿児島地方气象台）
- 日本気象学会奨励賞：尾崎理事（福岡管区气象台）

6. 全国理事会・支部長会議の報告

学会本部（理事会、支部長会議など）における議論の内容や決定事項等については「天気」の誌面で報告されるが、地方支部にも関係が深い事項について、会議に出席した廣岡理事から概要を報告いただいた。

2019年度九州支部 支部交付金 収支計算書
2019年4月1日～2020年3月31日

別紙1

単位：円

項目	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
事業収入			
本部からの支部交付金	570,800	570,800	
年度当初本部留め置き	144,487	144,487	
本部からの支部交付金（年度当初配算）	426,313	426,313	
前年度繰越金	429,887	429,887	
雑収入			
預金利息	0	13	
事業活動収入計（1）	856,200	856,213	
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
九州支部発表会費	(290,000)	(139,955)	150,045
会場費（施設備品使用料含む）	50,000	61,385	△ 11,385
特別講演講師謝金	30,000	0	30,000
特別講演講師旅費交通費	30,000	0	30,000
発表者旅費補助、役員・事務局・運営スタッフ交通費	100,000	0	100,000
講演要旨集印刷費	60,000	72,600	△ 12,600
郵送費	20,000	5,970	14,030
気象教室費	(235,000)	(107,990)	127,010
会場費（施設備品使用料含む）	40,000	0	40,000
講演講師謝金	40,000	20,330	19,670
講演講師交通費	50,000	40,630	9,370
講演要旨集製作費	60,000	30,800	29,200
役員・事務局交通費	25,000	0	25,000
郵送費	20,000	12,270	7,730
広告費（ポスター・チラシ製作費）	0	3,960	△ 3,960
管理費支出			
ホームページ運営費	(20,000)	(20,344)	(344)
プロバイダ料金	20,000	20,344	△ 344
理事会費	(62,000)	(49,992)	12,008
役員・事務局交通費	50,000	37,410	12,590
開催費（会場費）	12,000	12,582	△ 582
役員選挙費	(30,000)	(11,234)	18,766
郵送費	30,000	11,234	18,766
事務費	(50,000)	(10,573)	39,427
消耗品費等	45,000	4,883	40,117
その他郵送費（事業活動支出以外）	5,000	5,690	△ 690
その他管理費	(160,000)	(60,198)	99,802
その他管理費	10,000	0	10,000
2019年度秋季大会開催準備費	150,000	60,198	89,802
支部強化会計への補填金	0	0	0
事業活動支出計（2）	847,000	400,286	446,714
III 予備費支出			
予備費	(9,200)	0	9,200
予備費	9,200	0	9,200
予備費支出計（3）	9,200	0	9,200
収支差額（1）-（2）-（3）	0	455,927	(455,927)

※収支差額は翌年度へ繰越

別紙2

2019年度九州支部 強化活動費 収支計算書
2019年4月1日～2020年3月31日

単位：円

項目	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部からの支部強化基金	468,000	468,000	
事業活動収入計(1)	468,000	468,000	
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
ジュニアセッションin九州	(202,000)	(15,120)	186,880
発表者交通費	180,000	0	180,000
雑費(郵送費含む)	22,000	15,120	6,880
気象サイエンスカフェ in 九州	(112,000)	(61,875)	50,125
会場費	40,000	39,165	835
チラシ制作費	0	0	0
講師等への謝金	30,000	20,330	9,670
講師等交通費	30,000	2,380	27,620
役員・事務局交通費	10,000	0	10,000
郵送費	2,000	0	2,000
気象サイエンスカフェ in かごしま	(94,000)	(84,660)	9,340
会場費	30,000	31,000	(1,000)
チラシ制作費	20,000	22,410	(2,410)
講師等への謝金	30,000	30,700	(700)
講師等交通費	4,000	0	4,000
役員・事務局交通費	0	0	0
郵送費	0	0	0
その他雑費(消耗品費等)	10,000	550	9,450
九州支部奨励賞	(60,000)	(21,320)	38,680
記念品費	57,000	19,790	37,210
事務費	3,000	1,530	1,470
事業活動支出計(2)	468,000	182,975	285,025
収支差額 (1) - (2)	0	285,025	

※収支差額は本部へ返納

日本気象学会九州支部 2019 年度会計監査報告

標記の会計について、収支決算報告書・出納簿・領収書・預金口座残高を調査・照合した結果、適正に処理されていると認めます。

令和 2年4月23日

日本気象学会九州支部監査員

三好 勉 印

日本気象学会九州支部強化活動 2019 年度会計監査報告

標記の会計について、収支決算報告書・出納簿・領収書・預金口座残高を調査・照合した結果、適正に処理されていると認めます。

令和 2年4月23日

日本気象学会九州支部監査員

三好 勉 印

2020年度九州支部 支部交付金 収支予算書

2020年4月1日～2021年3月31日

別紙4

項目	今年度予算額	前年度当初予算額	前年度からの増減
単位(円)			
I 収入の部			
事業活動収入			
事業収入			
本部からの支部交付金(¥1200×180名+¥350,000)	566,000	570,800	△ 4,800
本部預め置き		△ 144,487	△ 144,487
① 本部からの年度当初配算額(人頭割額+一律額)	566,000	426,313	139,687
② 本部からの年度当初配算額(活動助成額)(強化基金) ¥20,000円×3件(普及啓発活動の件数)	60,000	468,000	△ 408,000
本部からの年度当初配算額(①+②)小計	626,000	894,313	△ 268,313
前年度繰越金	455,927	429,887	26,040
事業活動収入計(1)	1,081,927	1,324,200	△ 242,273
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
九州支部発表会費(オンライン開催)	(110,000)	(290,000)	△ 180,000
会場費(施設備品使用料含む)	0	50,000	△ 50,000
特別講演講師謝金	10,000	30,000	△ 20,000
動画制作補助	10,000	0	10,000
特別講演講師旅費交通費	0	30,000	△ 30,000
発表者旅費補助、事務局・役員交通費	0	100,000	△ 100,000
講演要旨集印刷費	70,000	60,000	10,000
郵送費	20,000	20,000	0
気象航空費(オンライン開催)	(40,000)	(235,000)	△ 195,000
会場費(施設備品使用料含む)	0	40,000	△ 40,000
講演講師謝金	20,000	40,000	△ 20,000
動画制作補助	20,000	0	20,000
講演講師旅費交通費	0	50,000	△ 50,000
講演要旨集印刷費	0	60,000	△ 60,000
役員・事務局交通費	0	25,000	△ 25,000
郵送費	0	20,000	△ 20,000
広告費(ポスター・チラシ制作費)	0	0	0
ジュニアセッションin九州(オンライン開催)	(22,000)	(202,000)	△ 180,000
発表者交通費	0	180,000	△ 180,000
雑費(郵送料含む)	22,000	22,000	0
気象サイエンスカフェ九州(オンライン開催、福岡・鹿児島を一本化)	(25,000)	(112,000)	△ 87,000
会場費	0	40,000	△ 40,000
チラシ制作費	0	0	0
講師等への謝金	10,000	30,000	△ 20,000
動画制作補助	10,000	0	10,000
講師等交通費	0	30,000	△ 30,000
役員・事務局交通費	0	10,000	△ 10,000
通信費等	5,000	0	5,000
郵送費	0	2,000	△ 2,000
気象サイエンスカフェかごしま(鹿児島開催)※福岡・鹿児島を一本化	(0)	(94,000)	△ 94,000
会場費	0	30,000	△ 30,000
チラシ制作費	0	20,000	△ 20,000
講師等への謝金	0	30,000	△ 30,000
講師等交通費	0	4,000	△ 4,000
役員・事務局交通費	0	0	0
郵送費	0	0	0
その他雑費(消耗品費等)	0	10,000	△ 10,000
九州支部奨励賞	(60,000)	(60,000)	0
受賞者記念品費	57,000	57,000	0
事務費	3,000	3,000	0
事業活動支出計(2)	257,000	993,000	△ 736,000
管理費支出			
ホームページ運営費	(20,000)	(20,000)	0
	20,000	20,000	0
理事会費(書面開催)	(0)	(62,000)	△ 62,000
役員・事務局交通費	0	50,000	△ 50,000
開催費(会場費・お茶代など)	0	12,000	△ 12,000
役員選挙費	(30,000)	(30,000)	0
発送費(切手・封筒等)	30,000	30,000	0
事務費	(50,000)	(50,000)	0
消耗品費等	45,000	45,000	0
その他郵送料(事業活動支出以外)	5,000	5,000	0
その他管理費	(10,000)	(160,000)	△ 150,000
その他管理費	10,000	10,000	0
2019年度秋季大会開催準備費 ※2020年度はなし	0	150,000	△ 150,000
支部強化会計への補助金 ※2020年度はなし	0	0	0
事業活動支出計(3)	110,000	322,000	△ 212,000
事業活動支出合計(4)	367,000	1,315,000	△ 948,000
III 予備費支出			
予備費	714,927	9,200	705,727
予備費支出計(5)	714,927	9,200	705,727

収支差額 (1)-(4)-(5)

0 0 △ 736,000

(別紙4 続き)

管理費支出			
ホームページ運営費	(20,000)	(20,000)	0
	20,000	20,000	0
理事会費(書面開催)	(0)	(62,000)	△ 62,000
役員・事務局交通費	0	50,000	△ 50,000
開催費(会場費・お茶代など)	0	12,000	△ 12,000
役員選挙費	(30,000)	(30,000)	0
発送費(切手・封筒等)	30,000	30,000	0
事務費	(50,000)	(50,000)	0
消耗品費等	45,000	45,000	0
その他郵送費(事業活動支出以外)	5,000	5,000	0
その他管理費	(10,000)	(160,000)	△ 150,000
その他管理費	10,000	10,000	0
2019年度秋季大会開催準備費 ※2020年度はなし	0	150,000	△ 150,000
支部強化会計への補填金 ※2020年度はなし	0	0	0
事業活動支出計(3)	110,000	322,000	△ 212,000
事業活動支出合計(4)	367,000	1,315,000	△ 948,000
Ⅲ 予備費支出			
予備費	714,927	9,200	705,727
予備費支出計(5)	714,927	9,200	705,727

収支差額 (1)-(4)-(5)

0 0 △ 736,000

支部事務局からのお知らせ

メールアドレスの登録および変更のお願い

支部事務局から会員の皆さんへの連絡やお知らせには、主に電子メールを利用しています。現在、支部会員の約9割の方にメールアドレスを登録いただいています。しかし、メールを送付した際に、送信エラーや不達などのメッセージが帰ってくる場合があります。以前はメールが届いていたのに、最近メールが届かなくなったという方は、職場の異動、学校の卒業・就職や進学などでメールアドレスが変更になっている可能性がありますので、確認をお願いします。

また、以前からお願いしていますが、インターネットが利用できる会員の方で、アドレスを登録していただいていない方も、新規に登録をお願いします。

アドレスの変更や新規の登録については、支部事務局までご連絡ください。

事務局からのメールは、一斉送信する際にはBCCで送信するため、他の会員にメールアドレスが知られることはありませんのでご安心ください。

学会への入会のお誘い(会員増加への協力お願い)

今回の支部理事会の報告にもあるとおり、学会の会員数は長期的には減少傾向にあります。これは九州支部だけではなく、全国的な傾向です。学会の活動は会員の会費で運営されており、会員数の減少は将来的には学会の十分な活動に支障を来すおそれもあります。

職場や学校などで気象学に興味をお持ちの方が周囲におられましたら、ぜひ入会を勧めていただくようお願いします。入会手続きについては、支部事務局へ連絡いただくか、学会のホームページを紹介ください。

投稿のお願い

支部だよりには会員の皆様からの投稿も掲載します。研究集会や講演会などのお知らせあるいは報告、主に大気中で起こった珍しい現象をとらえた写真、気象あるいは気象学にまつわる話題など、気象学会の活動に相應しいものであれば何でも結構です。投稿お待ちしております。